



9月6日から募集を開始した法文学部の宮本恭子教授によるクラウドファンディング「ヤングケアラ―同士が交流できるコミュニティをつくりたい」が、10月6日に募集中間終了を迎えました。皆様の温かいご支援に支えられ、当初目標としていた20万円を大きく超える52万3000円のご寄附を頂くことができました。

「ヤングケアラ―」とは、通常であれば大人が担うとされるような負担と責任を背負って家族の世話をしている18歳未満の子どものことをいいます。今回のプロジェクトでは、ヤングケアラ―同士が交流できるサロンを作るほか、ヤングケアラ―問題を正しく理解し、必要な支援を学ぶために定期的な勉強会の開催を企画しています。勉強会は、島根県内の会場と、全国から参加できるようにオンラインとのハイブリッドで行う予定です。

勉強会の成果は、ヤングケアラ―支援の参考となるよう、ハンドブックのような冊子を刊行し、社会に広く発信していく予定です。

TOPICS
4
ヤングケアラ―同士のコミュニティづくり
クラウドファンディング第9弾の目標達成



10月4日発行の『日経グローバル』421号で発表された「大学の地域貢献度調査」で、島根大学は全国総合6位になりました。このランキングは、日本経済新聞社が全国761の国公私立大学を対象に「地域貢献度」の調査を行い、その回答を基に5つの分野の得点を合計して順位づけしたものです。

今回の調査では、新型コロナウイルスの感染拡大やSDGsへの世界的な関心の高まりなどを踏まえ、前回(2019年)の調査であった「グローバル」分野から「SDGs:コロナ対応」分野へ項目の変更が行われました。島根大学では「地元企業とのオンラインインタラクション」を共同開発した事例が紹介されるなど、地域に根ざした活動を継続的に行ったことで2回連続トップ10入りを果たしています。

島根に活きる大学として、今後も地域と一体となって様々な課題に対応し、社会に貢献していきます。

TOPICS
1
『日経グローバル』発表の大学の地域貢献度ランキング
島根大学が全国総合6位に

しまだいいり



島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。



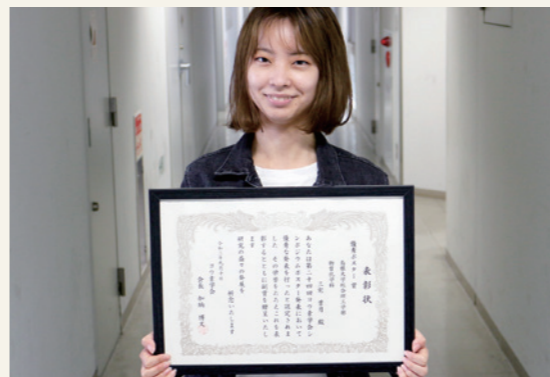
TOPICS
6
研究交流や交換留学の活発化に期待
サンパウロ大学との教員交流会を開催

9月10日、令和2年7月に協定を結んだブラジル・サンパウロ大学哲学学人間科学部と本学法文学部の教員による交流会を開催しました。サンパウロ大学からは3名、本学からは8名が参加し、まずは双方の自己紹介から始まり、今後の研究交流の可能性やお互いに質問してみたい話題に移りました。サンパウロ大学と本学との今後の研究交流、交換留学、大学院のダブルディグリー制度設立に向けて大きな一歩となりました。



TOPICS
5
「就農支援リカレント教育プログラム」受講の募集開始
県内就農につながるリカレント教育

島根大学は、文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に採択され、島根県で就農を夢見る方に向けた、農業の専門知識を獲得するための「就農支援リカレントプログラム」を実施することとなり、9月より受講の募集を開始しました。このプログラムは、本学を中心に関係機関と連携して形成されています。今後、県内就農希望の受講者へしっかりと支援を行ってまいります。



9月に開催された第24回ヨウ素学会シンポジウムにおいて、総合理工学部物質化学科理工特別コース4年生の三宅葉月さんが、「優秀ポスター賞」を受賞しました。三宅さんは、ビタミンB2誘導体とヨウ素を触媒として用いることにより、空気中の酸素を使用する環境負荷の低い手法で化合物の炭素原子と炭素原子を結びつけることができることを見出し、発表しました。

本研究は、近年の国際目標であるSDGsの実現を目指す試みの一端です。

TOPICS
3
環境負荷の低い合成手法を見出す
総合理工学部学生が優秀ポスター賞受賞

自然科学研究科理工学専攻機械・電気電子工学コース2年の岩崎允宣(まさのぶ)さんが、9月に行われた日本デジタルゲーム学会夏季研究発表大会において、学生大会奨励賞を受賞しました。発表タイトルは「重度障害児の『おもちゃ遊び』を可能にする視線入力アプリの開発」で、研究室で開発しているEyeMOTシリーズとして広く公開しており、多くの支援学校・障害者施設や家庭で活用されています。機械・電気電子工学領域のヒューマンインタフェース研究室で重点的に取り組んでいる重度障害児の支援技術が高く評価されました。

TOPICS
2
重度障害児の支援技術が高く評価
日本デジタルゲーム学会で奨励賞を受賞



読者の声
Voice

広報しまだいいり
vol.49に
寄せられた声をお届けします。

SDGsのマークは分かりやすく良い。
地方大学が世界と繋がっているんだと感動します。
(島根県出雲市・60代女性)

専門的なことですが、より読者に分かりやすい学科紹介なども期待しています。
(島根県大田市・60代女性)

最先端の技術開発と社会への貢献、すばらしい!
(島根県松江市・60代女性)

誌面の都合もあると思いますが、広報誌の次号予告があると良いと思います。
(島根県江津市・40代女性)